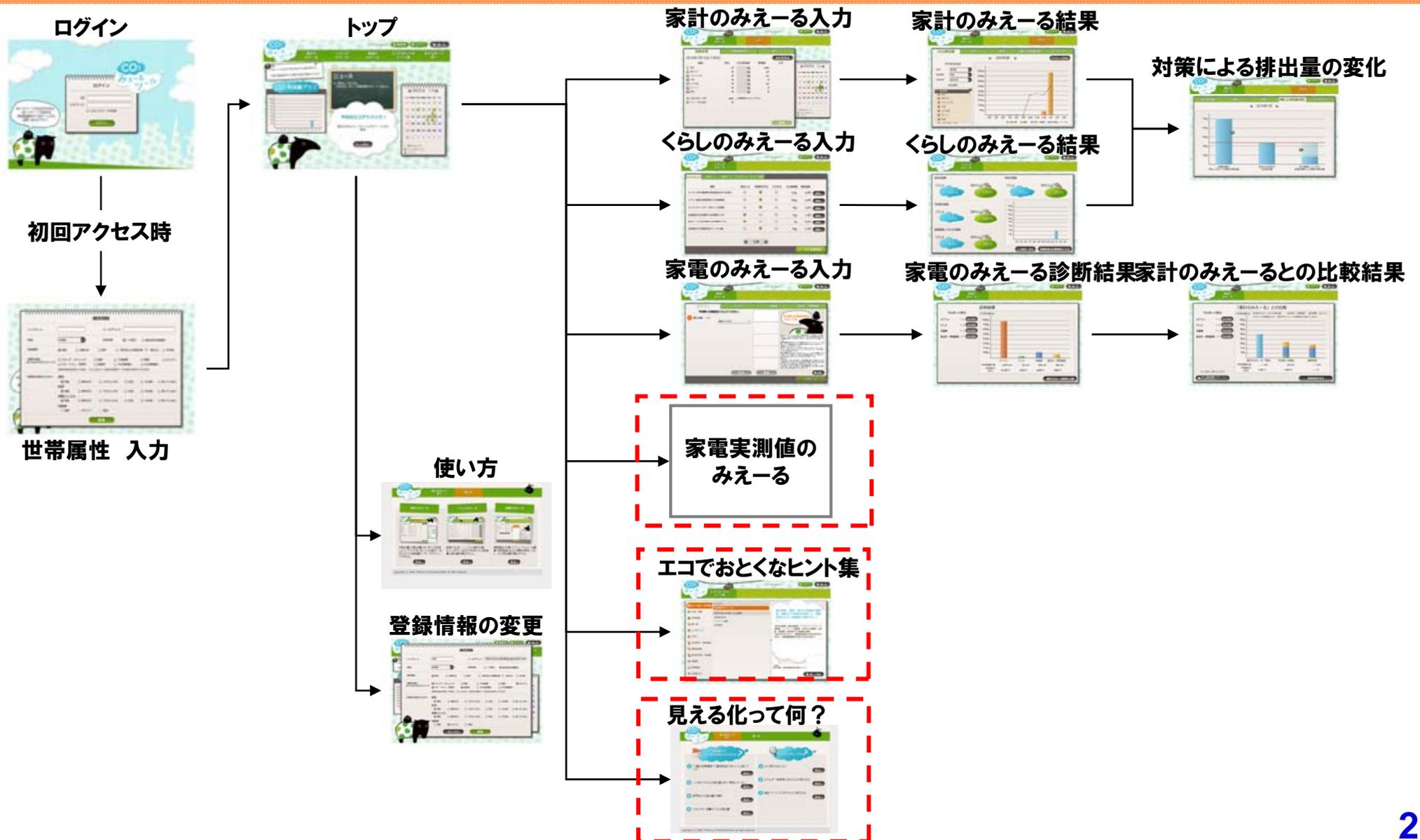


日常生活CO₂情報提供ツール 試用版の概要について

はじめに

- **情報提供ツール試用版は12/22から試験運用中**
- **モデル事業のモニター200世帯と、委員の皆様にID/パスワードを配付し、ご試用いただいている**
- **今回は以下の内容について説明する**
 1. **「見える化って何」、「ヒント集」の画面仕様**
 2. **CO₂排出量・削減量算出の考え方**
 3. **追加予定機能**
 4. **情報提供ツール評価アンケートについて**
 5. **情報提供ツール スケジュール**

情報提供ツール 全体構成



1. 「見える化って何」、「ヒント集」の画面仕様

「見える化って何？」目次ページ 画面仕様

Copyright (c) 2009- Ministry of the Environment All right reserved.

- 「家庭部門でCO₂の排出を減らすのはなぜ?」「見える化って何?」の2部構成
- 目次ページからは各記事へのリンクを表示

1 記事ページへのリンク
タイトルに対応した記事内容へのリンクです。

1. 「見える化って何」、「ヒント集」の画面仕様 「見える化って何？」記事ページ 画面仕様

CO₂ みえるツール

家庭部門でCO₂の排出を減らすのはなぜ？

1 "二酸化炭素濃度"と"観測気温"は年々に上昇している！

地球の気候は様々な要因により影響を受けて変化しますが、近年、主に人間の活動によって排出されるCO₂などの温室効果ガスにより、年々気温が上昇しています。IPCC第4次評価報告書によれば、世界の年平均地上気温は100年当たり0.74℃の割合で上昇しています。

世界の年平均地上気温の平年差

図1-1 世界の平均地上気温の平年差

出所：環境省「図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書 平成21年版 [HTML版]」(平成21年6月)

2 くわしく知りたい場合はコチラ<関連リンク>

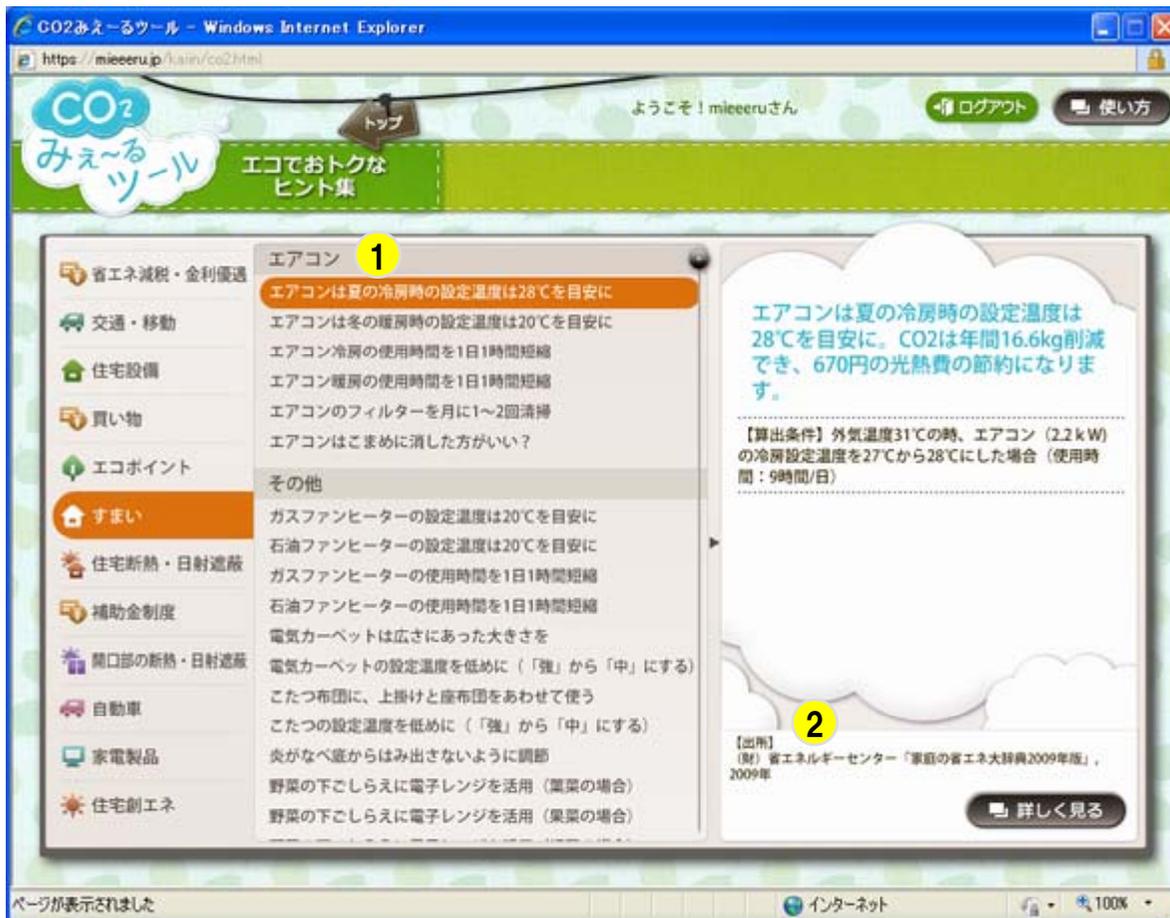
- ・(独)国立環境研究所「[環境科学解説：地球温暖化 第1部『地球温暖化とは？』](#)」
- ・(独)国立環境研究所 地球環境研究センター「[CGER ココが知りたい温暖化](#)」

- 図と文章で家庭部門におけるCO₂削減意義と、CO₂「見える化」について概説
- 詳細な情報等については関連サイトへリンク

1 目次ページへリンク
「見える化って何？」の目次へのリンクと、ページ内の各記事へのリンクです。

2 関連リンク
詳細な情報等については関連サイトへのリンクを用意しています。

1. 「見える化って何」、「ヒント集」の画面仕様 「エコでおとくなヒント集一覧」画面仕様



- CO₂削減に限らず、環境負荷低減に係わるヒントを「すまい」「買い物」「交通・移動」といったカテゴリごとに表示
- 詳細な情報等については関連サイトへリンク
- ヒント集の項目は、トップページにアクセスするたびランダムに表示

1 ヒント項目

読みたいヒント項目を選択します。
ヒントの具体的内容は画面右に表示されます。

2 出所・関連リンク

ヒント内容の出所が表示されます。
また詳細な情報等については関連サイトへのリンクを用意しています。

2. CO₂排出量・削減量算出の考え方

CO₂排出量算出の考え方(光熱水費)



[光熱水費のCO₂排出量算出方法]

- 基本的にはCO₂排出量は光熱費支出額から算出する(使用量からの算出は今後検討予定)
- 光熱水費単価は地域ごとに差が大きいいため地域別に設定し、CO₂排出係数は全国一律とする
- 電気の排出係数は、中長期的な評価を考慮し、2004年～2008年の全電源の排出係数の平均値 0.43を採用する
- 排出量の表示に当たっては、電力会社の購入クレジット分を反映した場合の結果をグラフに併記する



$$\text{CO}_2\text{排出量} = \text{支出額} \div \text{光熱水費単価} \times \text{CO}_2\text{排出係数}$$

(地域別) (全国一律)

2. CO₂排出量・削減量算出の考え方

CO₂排出量算出の考え方(光熱水費以外)

品目	支出	CO2排出量	オフセット	メモ
食費	円	kg	kg	
住居	円	kg	kg	
家具・家電等	円	kg	kg	
日用品・雑貨等	円	kg	kg	
被服・服飾・かばん等	円	kg	kg	
保健医療	円	kg	kg	
交通・自動車等	円	kg	kg	
通信・宅配	円	kg	kg	
教育	円	kg	kg	
教習訓練	円	kg	kg	
理美容	円	kg	kg	
冠婚葬祭・交際費・こづ	円	kg	kg	
保険・ローン・預貯金	円	kg	kg	

[光熱水費以外のCO₂排出量算出方法]

- 家計簿として入力した金額に、CO₂排出原単位を乗ずることで算出する
- CO₂排出原単位は「3EID原単位(2000年購入者価格ベース*1)」を用いる
- 大分類と詳細分類いずれからも入力できるが、両方入力された場合は詳細分類での入力を優先して排出量を算出
- カーボンオフセット商品によるオフセット量を入力した場合、オフセットを反映したCO₂排出量を表示する

*1) 3EID原単位は2005年(完成版)が公開され次第修正予定

$$\text{CO}_2\text{排出量} = \text{支出額} \times \text{CO}_2\text{排出原単位} \\ (\text{3EID [2000年購入者価格ベース]})$$

2. CO₂排出量・削減量算出の考え方

「くらしのみえーる」CO₂排出量、削減量算出の考え方



- 削減項目は、省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」を中心に、各主体の公表する省エネ行動と、その効果を引用して作成
- ただし、出典ごとにCO₂排出係数やエネルギー単価が異なるため削減効果の直接引用はできない
- そこで、各出典の公表するエネルギー削減量を元に、CO₂排出係数、エネルギー単価を統一して効果を算出
- 削減分の電気の係数については利用者への分かりやすさ及び中長期的な評価を考慮し、原則前述の排出係数を用いる
- CO₂削減効果の評価に当たっては、限界電源係数*2を用いる考え方もあり、その場合のCO₂削減量を表示できるようにする

*2) 限界電源係数:短期的な電力需要変化に応じて供給調整を行う電源による電力のCO₂排出源単位

3. 追加予定機能

「家電実測値のみ見える」入力画面

実測家電のみ見える入力

ヘッダー

入力 結果グラフ

データ入力 2009年12月分

◀ 先月 **1** **2**

日付	TV	冷蔵庫	エアコン
12月1日	()kwh	()kwh	()kwh
12月2日	()kwh	()kwh	()kwh
12月3日	()kwh	()kwh	()kwh
12月4日	()kwh	()kwh	()kwh
12月5日	()kwh	()kwh	()kwh
12月6日	()kwh	()kwh	()kwh
12月7日	()kwh	()kwh	()kwh
12月8日	()kwh	()kwh	()kwh
12月9日	()kwh	()kwh	()kwh
12月10日	()kwh	()kwh	()kwh
12月11日	()kwh	()kwh	()kwh
12月12日	()kwh	()kwh	()kwh
12月13日	()kwh	()kwh	()kwh
12月14日	()kwh	()kwh	()kwh
12月15日	()kwh	()kwh	()kwh

▼

3 データ登録

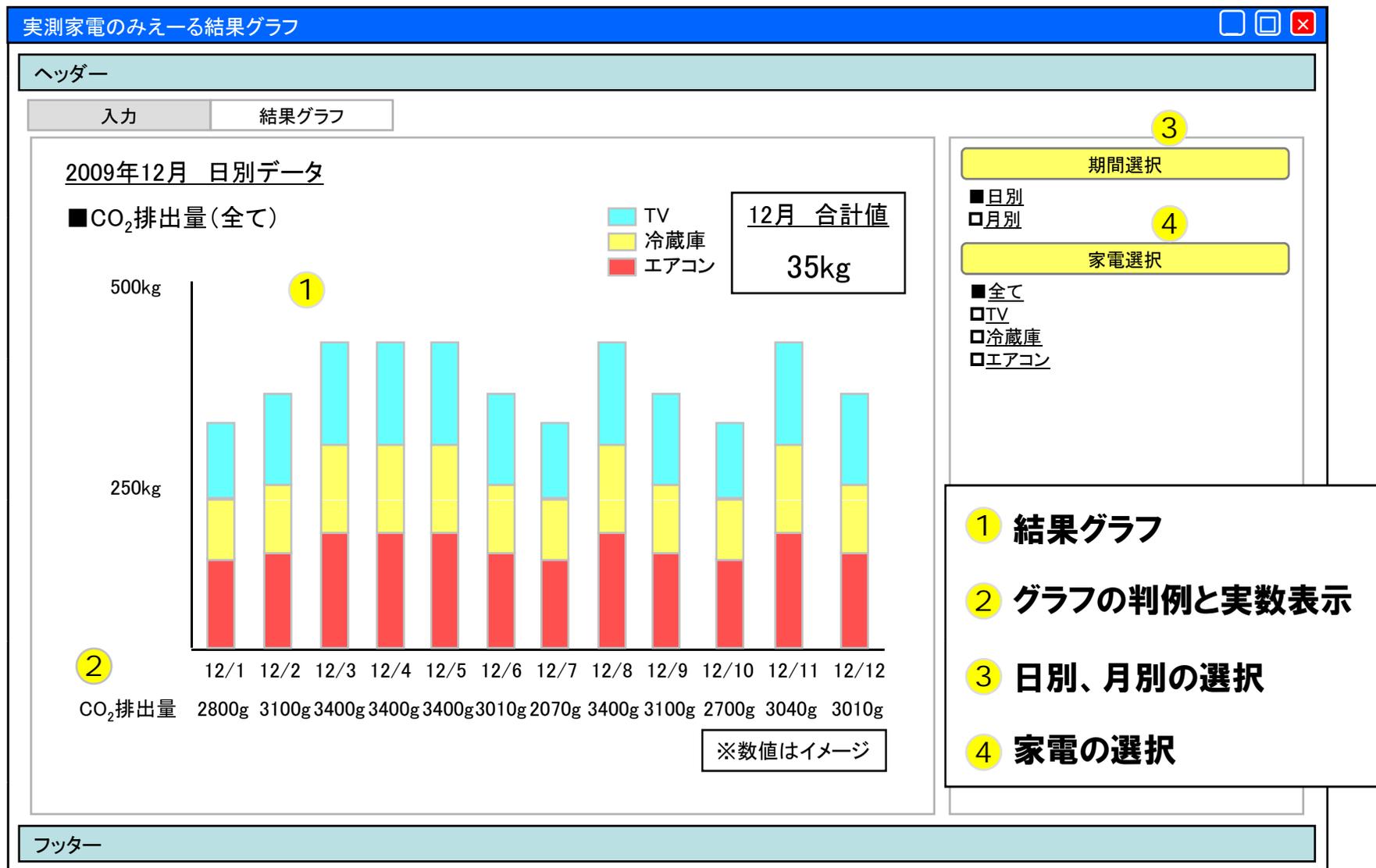
フッター

- モデル事業で計測している家電ごとの消費量を入力し推移をグラフ化する機能
- TV、冷蔵庫、エアコンの日別CO₂排出量を毎日「見える化」することで、日々の行動によるCO₂排出量の増減を実感してもらえる
- 省エネナビのない一般世帯においても、リアルタイム「見える化」機能を持つ家電に日積算CO₂排出量が表示されていれば利用することができる

- 1 先月分の入力へ
- 2 電力量入力
- 3 データ登録

3. 追加予定機能

「家電実測値のみえーる」結果画面



4. 情報提供ツール評価アンケートについて

- **調査対象**：モデル事業のモニター世帯(200サンプル)
- **調査時期**：平成22年2月上旬
- **調査目的**：ツール試用版についての意見・要望を収集し、ツール改修のための参考意見として活用する
- **調査項目**：
 - 各機能の使い勝手**： 入力方法の分かりやすさ/使い勝手、入力項目数の適切さ、結果の分かりやすさ、利用頻度など
 - ツール全体について**： 分かりにくい用語、良い/悪いと思う機能と理由、追加して欲しい機能、CO₂削減意識の変化など
 - 回答者属性について**： 普段から家計簿をつけているか、インターネットの利用頻度、日常的な環境意識、普段実施している環境活動など

